

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	自立した日常生活を営むことができるよう援助し、「オンリーワン・アットホーム～笑顔のたえないあなたと私～」の独自の理念を挙げている		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	グループホームの意義や目的を全職員が理解し、業務検討会や職員会において、理念や基本方針に基づいたケアを実践している		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	理念や基本方針について、家族や面会者に、機会がある度に説明をしている		
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	広い園庭を地区の老人会に、ペタンクコートとして利用していただき、時々草刈をしていただいている 日常的に散歩や、近所の店に買い物に出かけている		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区の祭りや文化祭等には積極的に参加している 園庭でのペタンク競技時は見学をしている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域での研修会や介護教室には、積極的に参加し、認知症ケアの向上に努めている		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員会時、評価事項の意義や目的に基づいた支援を心がけている		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営状況や問題点を参加者全員で話し合い、会議内容を書面をもって介護従事者に報告している 問題点、解決策については迅速に検討会を行い、改善に努めている		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村が開催する介護研修会に積極的に参加するようにし、市町村の担当者と交流を深めるようにしている それらが入居者のサービスの向上に繋がるよう努めている		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	制度についての理解を深めるよう情報を提供している		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止についての研修会に参加し理解を深めている 特に日常的な会話の中で、言葉による虐待に十分気を配っている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所申込者、又はその家族から、サービス提供前の問い合わせ、及び見学に対する仕組みがある 契約の際には、契約書及び重要事項説明で丁寧に説明している	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会の委員に、生活についての相談を聞いてもらい、それらの意見について、介護従事者と検討会を行い支援を実施している	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会の少ない家族には、電話で日常生活の様子を知らせている 健康状態に変化が見られる時は、随時電話による連絡をしている 広報誌を作成し送付している	○ 広告紙を年2回は作成したい
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時には、要望や意見を聞くようにしている 出された要望、意見については、職員会や業務検討会で話し合い、改善に努めている	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	行事内容については、入居者を含め、全員で話し合っている 業務検討会やミーティング時、個々の意見を引き出すよう努めている	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者や家族の家族の状況等、個別の要望にそって支援を行うため、臨機応変に対応している 中には、お孫さんの結婚式に職員が同行する事で出席ができ、本人、家族が大変喜んでおられた	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動がある場合は、タイミングをみて、入居者様の負担にならないよう配慮する	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設外研修には全員に参加を呼びかけ出席しているグループホームに関する知識を得るため、職員会時、研修会の復習や、話し合いを実施している	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	職場外研修に積極的に参加し、情報を収集し、サービスの向上に努めている	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職場外において、親睦会をもうけ、気分転換や信頼関係を深めている	○ 支援を実施する介護員が、よい環境の下で、よい支援を行うために、ストレスを軽減し、職員間の信頼関係を深めていく
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	行事等は、起案を書を作成し、目的や内容を全員が把握し、実施後は反省会を行い次回に活かしている	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所時から本人の思いに耳を傾け、職員はその思いを受け入れ、理解するよう努めている 本人から相談があった時は、ゆっくりと話を聞き、要望や思いを受けとめる努力をしている	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ゆっくりと時間をかけて話を聞き、要望や思いを受けとめる努力をしている	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族の要望を基に、優先順位をつけ、一緒にサービスを決定している サービス変更必要時は、随時検討し、迅速に対応するよう努めている		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所申込者、又は家族からのサービス提供契約前の問い合わせや、見学に応じている サービス内容については自宅での状況とすり合わせながら、徐々に居室で過ごす時間からホールで過ごす時間を増やし、食事づくりや、趣味活動を通して、馴染めるような雰囲気をつくっている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者主体を念頭に、本人が意思決定できるような声掛け、雰囲気をつくっている 生活歴の中から、本人が自信をもって出来ることを探している		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時、本人の望むことは何かを、家族と一緒に話合い、サービスを検討している		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人と家族の関係を維持できるよう、お盆や正月には出来るだけ外出、外泊を勧めている 家族に電話を入れたい時は、さくら荘の電話から100番を通じていつでもかける事が出来るようにしてある		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前から行きつけの美容院に通っている方がいる 行きつけの洋服店で、友人と待ち合わせ、一緒にショッピングを楽しまれ、友人との関係を続けている		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	レクリエーション、買い物、ドライブ等、気の合う同士誘い合ったり、時々、全員でお出かけしたりと、入居者同士の関係がうまくいくよう配慮している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	年賀状をもって挨拶している 狭い島なので、本人、家族に出会った時は、その後、どう過されているかと会話を交わしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	発言や行動、生活歴との関係から、本人の思いを探り、理解するよう努めている できる限り本人が意思決定できるような声掛けに努めている	○	一人ひとりの思いを把握し、いごごちのよい居場所をつくりたい
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に自宅を訪問し、これまでの生活環境、趣味、本人の思いを把握し、その人らしく生活できる環境をつくり、できるだけ、これまでの生活に近い暮らしができるよう支援している		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人一人について自宅でできたことや今までしてきたこと等を現在の生活に取り入れ、自信を持っていただいている 食事準備、食器洗い、洗濯たたみ、部屋掃除等、できる方には職員と一緒にやっている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	歩行が困難になってこられた方には、本人、家族、福祉用具販売員、介護従事者と相談し身体にあった歩行器を購入している 浴室の床に滑りとめマットを敷いて、転倒の再発防止をしている		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居者に変化があった場合は随時、支援の見直しを行い家族に相談、状況報している 毎月1回カンファレンスを実施し、支援の統一と、現状に適した介護を行っている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別のカードックスに毎日の介護支援や、看護支援を当日の勤務者で記録し、職員がいつでも閲覧できるようにしている 連絡ノートを準備し、職員の気づきや、情報を、だれもが、いつでも記入できるようにしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホーム専用の軽自動車があり、通院や、買い物、ドライブなど、要望時に対応している 時々法人のワゴン車をかりて、全員で遠足やドライブに出かけることもある		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	年2回、中学生ボランティアに窓拭きを行ってもらっている 園庭を地区にペタンクコートとして利用していただき、時々、草刈を行ってもらっている 地域文化祭に作品を出品し、本人に自信を持ってもらうよう支援している		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	入所前に担当のケアマネジャーと連絡をとり、本人の生活の様子や、家族の希望等の情報収集を行っている 今のところ、他のサービスを希望されている方はおられない		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括センター主催の研修会や介護教室には、積極的に参加し支援の向上に努めている 包括センターが実施した健康体操を、毎日のラジオ体操時に行っている		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医で定期的に受診し、服薬や生活に対する相談を行っている 受診時に家族が付き添われる方がいる 定期受診の他に、本人の希望や、体調不良時には、柔軟な対応を行っている		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけ医で受診時に、生活の様子を報告し、服薬や、助言をしていただいている 協力病院の精神科に受診し、治療方針や認知症への指示や、助言をいただいている方もいる		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	毎日、午前中に体温、血圧を測定し、記録している 看護職員を配置し、常に、入居者の健康管理や状態変化に応じた支援を行えるようにしている		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時は病室を訪ね、状態把握をしている 環境変化等による認知症の悪化を防止する為にも、病院スタッフと連絡をとりながら、できるだけ早く退院できるよう働きかけている 入院時も本人、家族の支えになり、退院計画を病院関係者と一緒に考えている		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りについての指針がある 本人、家族、医療機関、介護従事者と連携をとりながら、支援をしていく		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医療機関、本人、家族、介護従事者と連携を図りながら、安心と、安全を確保した支援を行う		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人、家族の希望により、ご夫婦で家庭に帰られた方がおられるが、ホームでの生活や支援状況を、家族や担当のケアマネに情報提供し、環境の変化を最小限に支援できるようにしている 退所後も入居者の方と数回訪問を行い、馴染みの関係を継続してきた		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日常の会話を、常に、尊敬と人生の先輩であるという意識で行うよう注意を払っている まずは、本人の自己決定に基づいたし支援を提供している 個人情報のファイルを綴り、鍵のかかる書庫に保管している	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人がどうしたいかを自己決定できるような声掛けや、対応を心がけている 本人の能力や体調にあわせた支援を本人と相談しながら行っている	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の思いではなく、本人がどうしたいかを自己決定できるような声掛けを心がけている 一人一人の思いを大切に、個別的な過ごし方ができるように対応している	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	以前から行きつけの美容院に家族の方と一緒に通っている方がいる病院受診時や外出時はおしゃれをして出かける方もいる 出かける事が困難な方には、理容室の方に出向いてもらいカットをしている	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理、盛り付け、片付けを、入居者と一緒に行い、入居者の思いに任せ、楽しい雰囲気で作業ができるようにしている 味付けも、その時の担当した入居者に任せ、担当により、多少の違いがあるが、個人の嗜好の違いを優先している	○ 入居者様が積極的に調理や、かたづけを行える雰囲気をつくりたい
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	牛乳、プリン、コーヒー、ココア、昆布茶等そろえ、いつでも、自由に飲んで頂けるように、食堂の一角に、ポットと一緒に準備している お菓子類は、一緒に買いに行き、好きなものを選んでもらっている	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	時間をかけても自分でトイレに通う事ができるよう手摺りを設置し、自立とプライバシーの保持に努めている 職員と同じトイレを使用し、汚染があれば気がついた職員が掃除を行い、失敗を攻める事はしない		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴介助が必要な方は、本人がゆとりを持ち、リラックスして入浴できるよう、一对一の入浴を行っている 自立入浴のできる方は、いつでも、自由に入れるようになっている		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	自宅に居たときとなるべく変わらない生活リズムで過ごしていただいている 天気の良い日は、体調に応じて、室外に散歩をし、夜間ぐっすり眠れるような対応をしている 夜間のトイレ移動が心配な方には、ポータトイレを設置し、安心して休んでいただいている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	自宅にいる時、畑づくりをされていた方と一緒に、大根、ねぎ、白菜等の種をまき、収穫時は、味噌汁の具材にと、全員で成長を楽しんできた 食事盛り付け、食器洗い、洗濯たたみとそれぞれに、得意な事を自発的に行っている		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	小遣い程度持っており、近所へおやつ等職員と一緒に買い物に行かれた時は、本人が直接お金を支払う事で、金銭感覚を養っている 病院受診時も、自己管理できる方については、自分で支払いをしていただいている		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホーム専用の軽自動車があり、できるだけ、個人の要望にそって、行きたい場所に、行きたい時間に、出かける事ができるように支援している 理容室、買い物、友人との面会等、ホーム専用の車で出かけている	○	「今」を大事に、行きたいところがあれば、迅速に対応したい
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	お茶の時間に、出かけてみたい場所をうかがい、紅葉見学、花見等、お弁当を作って出かけている 個別に買い物や、ドライブ等、希望がある時は、ホームの自動車を出かけている 家族が時々面会に来られる方は、家族と一緒に墓参りや、親戚の法事等出かけている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族に毎月手紙を書かれる方がおり、郵便局が少し離れているため投函する事が困難な方には、郵便局まで一緒に行き手紙を出すことができる支援をしている 子機を使い、居室で、100番を通じて電話代をいただき、いつでも電話をかける事ができるように支援している		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	来客用お茶をホールの一角に置き、入居者自身が来客時、いつでも接待できるようにしている 面会者と本人、介護員を交えてお茶をいただき、面会者が居心地よく過ごせるような環境づくりに努めている		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルを作成し、職員全員周知徹底している 人権、身体拘束に関する研修会には、全員が参加するよう努めている		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関から外に出て、建物の周辺を散歩される方はいるが、そこから先には行かれることなく、鍵は一切使用していない 居室窓のサッシ鍵については、夜間のみ外部者進入防止の為、鍵をかけていただいている		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	カウンター式のオープンな事務所になっており、居室や玄関が見える位置にあるので、遠くから、様子を見守る事ができる 夜間の定時見回りや、居室からの物音に注意しながら待機している また、必要時はコールを押していただき、案全対策に努めている		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	殆どの方が、服薬の管理が難しく、飲み忘れや、重複して飲まれたり誤薬がある為看護師預かりにし、薬品庫に保管している 調理時に包丁等危険な物品を使用する時は、必ず職員が一緒にいるところで、十分注意をしながら使用してもらっている		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故発生時、あわてず迅速な対応ができるよう避難訓練、救命講習を毎月1回実施している ヒヤリハット記入を積極的に取り組み、朝礼時報告し、原因追及をし、再発防止に全員で取り組んでいる		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時や事故発生時に、あわてず落ち着いて対応ができるよう、毎月1回救命講習を行っている 年1回、応急手当を消防隊の指導により実施している		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年1回、全職員が、避難訓練、消火訓練の指導を消防隊より受けている 毎月1回、避難訓練を実施し、消火器の使用法、避難経路、通報等、一連の動作を声にだし、作業の確認をしながら訓練を行っている		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	生活の様子を通して、リスクに関する説明を、本人を交え、家族と話し合いの上、支援を行っている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日、健康チェックを行い、普段から個人の血圧や体温、状態変化を把握するように努めている 状態変化時は、かかりつけ医の受診を受診をうけている 朝夕の申し送りや、連絡ノート、個人記録に記録を残し、全職員が状態を理解している		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人の服薬状況をファイルにとじ、全職員が把握できるようにしている 受診後服薬変更時は、看護師より、服薬の作用等、説明を行い、個人の服薬状況を把握している 服薬時は、必ず名前の確認再確認と、手渡しをし、誤薬防止をしている		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎朝健康体操を行い、できるだけ参加していただき、身体を動かすようにしている おやつに牛乳、ヨーグルト等乳製品をとり入れたり、水分を摂取するよう声掛けを行っている 長い廊下を利用し、歩行運動をされる方もいる		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	週1回、義歯の消毒を行っている 毎食後口腔ケアの声掛けを行っているが、今までの週間もあり、最小限、夕食後の口腔ケアは行ってもらっている 全職員が地域での口腔ケア研修会に出かけ、重要性について認識している		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事残量チェックを行い、個人の摂取量を把握に努めている 個人の希望を取り入れながらメニューを作成し、バランスの取れた食事が提供できるよう配慮している の 夜間の水分摂取も十分できるよう、居室に、ポット、急須を用意していただき、配茶をしている	
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザ予防接種を、本人、家族の同意の下、実施している 感染予防、対応マニュアルがあり、全職員周知徹底している 外出から帰った時は、必ず、手洗い、うがいを実施してい 感染症発生の情報を収集し、早期対応に努めている	
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	おしぼり、台ふきん、まな板は、毎食後、キッチンハイターで消毒している 個人のコップ、湯のみを毎週日曜日にハイター消毒している 近所のスーパーに買い物に出かけ、新鮮な食材を使用するよう心がけている	
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関内に木製のスロープや手摺りを設置し、段差を解消し靴の履いたり脱いだりの動作が安全にできるようにしている 入居者の一人が居室の花台を提供され、玄関に置き、生け花を活け、和やかな雰囲気をつくって来客を迎えている	
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下の壁がコンクリートで冷たく感じられるので、入居者様の了解を得て、行事の写真等掲示している ホールのコタツを囲み、みんなでお茶をいただく時もある 玄関、ホールに季節ごとの花を入居者と一緒に生けるよう心がけている	
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールのコタツの側にソファを置き、足の悪い方でも、周囲に気兼ねなく一人で腰掛ることができるようにしている ソファと丸テーブルを置き、気のあった者同士が会話ができる雰囲気をつくっている	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時、新しい物ではなく、今まで使われていたダンス、家具を持ってきていただき、住み慣れた雰囲気にをつくり、環境の変化をできるだけ少なくしている 家具の配置も、本人と相談し、本人の使いやすいように置いている		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	居室に換気扇が設置してある 各居室にエアコンが設置してあり、個人の希望、体調にあわせ、温度調整を行っている 居室にポータブルトイレを置いている方には、消臭剤をおいている 居室掃除チェック表つくり、入居者と一緒に定期的、随時に掃除をしている		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、トイレ等手摺りがあり、安全に移動していただいている 歩行状態にあわせ、押し車、歩行器、杖を使用している 入浴時、歩行困難な方にはシャワーキャリーを準備し、安全に移動ができ安心して入浴できるようにしている		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	曜日や、月がわかるよう、食堂に手作りのカレンダーを飾っている 食堂の水道は、ひねり式手動にしてある トイレが自動水洗の為、最初は理解でき難かったが、職員の声掛けや、繰り返し使用することで混乱も取り除かれた		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ウッドデッキで時々、入居者と一緒に外を眺めながらお茶を楽しんでいる 畑を耕し、白菜、大根、カブの種をまき、草を抜き、水をやり、成長を楽しみ、収穫したものを味噌汁の材料にしている		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)